

集まれ！  
未来を担う  
学生たち

# JALスカラシッププログラム



## 2024年は 環境問題を深掘り

『JALスカラシッププログラム』は、アジア・オセアニアの大学・大学院生を日本へ招待し、日本人学生との交流・研修や文化体験を通じて日本への理解や国境を超えた相互の理解を促進し、将来のアジア・オセアニア地域を担う若者を育成することを目的としています。

1975年に日本航空によって開始され、1990年に発足した日航財団（現JAL財団）が運営を引き継ぎ、これまでに1707名の学生を海外から迎えてきました。

2024年のJALスカラシッププログラムは、「SDGs」持続可能な未来へ」をテーマに、6月27日から7月18日にオンラインプログラムと訪日プログラムの2部制で開催。海外の学生（海外スカラ生）24名と日本人学生（東京スカラ生）

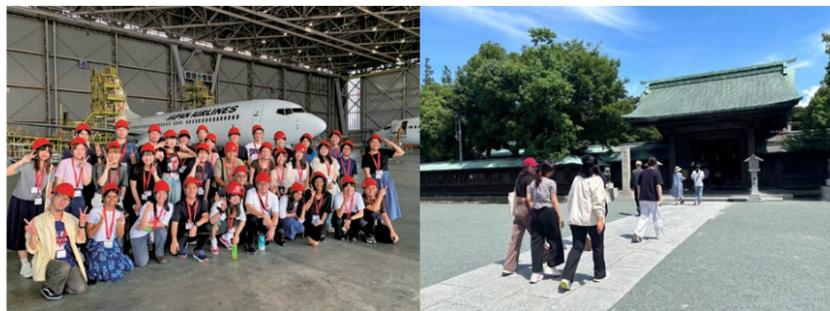
11名が参加しました。

前半5日間のオンラインプログラ姆では、専門家による3つの講義「地球温暖化の現状やその解決に向けた取り組みについて」「SDGsと生物多様性の課題について」「Design for Changeの環境アプローチ」に加え、前年のスカラ生の発表が設けられ、今回の参加学生は大きな刺激をもらった様子。環境課題や主体性への意識を高める絶好の機会となりました。

## 24名の学生を迎えた 訪日プログラム

続いての訪日プログラムは、東京でのオリエンテーションとチームビルディングからスタート。その後、福岡へ移動し、宗像大社、タカミヤ環境ミュージアム、シャボン玉石けん工場などの視察を通じて日本の自然・宗教・文化に触れ、持続可能な産業に対する理解を深めた他、さつき松原海岸でのビーチクリー

今回のテーマに該当する目標



3 2



5 4

1.公開シンポジウムで全員集合！日本を含む15の国と地域から35名の学生が集まった。2.宗像市を訪ね、海と密接に関わる地域の信仰や文化について学ぶ。3.JAL SKY MUSEUMを視察。4.東京湾の埋め立て地に整備された海の森公園で森林の育樹を体験した。5.全行程を振り返り、学びをシェア。

ーンや福岡教育大学の学生とのワークショップを体験しました。東京へ会場を移してからも、JAL SKY MUSEUMに始まり、三鷹の森ジブリ美術館、日本フールドエコロジーセンター、さがみこファーム、中央防波堤埋立処分場・廃棄物処理施設、海の森公園などの視察が目白押し。また、合流した東京スカラ生によるSDGsの視点で巡る東京案内や、パーム油をテーマに持続可能な社会について考えるワークショップを通じて、スカラ生同士が意見交換し、親睦を深めました。

最終日は、プログラムが終了してから半年間で実行するホームグループごとのアクションプランと、一人一人による「わたしの2030年目標」の発表でした。さまざまな国と地域から集まった若者たちが、真剣な眼差しで自分たちの志を語る姿は清々しく、「みんなの国のことや環境問題への思い、自分自身の悩みを共有しあったこの経験は、2030年までの節目節目で思い出すだろう」「いろいろな面で考え方が変わるような1週間だった」といったコメントからは、充実した学生たちの様子がうかがえました。JALスカラシッププログラムを通じて得られた学びと国境を超えた友情が、今後のスカラ生たちの財産となることを私たちも願っています。

※ JAL財団とJALグループはこれからも、次世代を担う若者たちの夢を応援する活動を続けてまいります。

## みんなの アクションプラン

### ホームグループ名 チームワンワン

JALスカラシッププログラム  
歴代参加者の  
コミュニティ構築のための  
同窓会開催

### ホームグループ名 YTS

ファストファッションについての  
インタビュー・SNS・ポスターによる  
啓発活動

### ホームグループ名 パパと6人の子供達

プラスチックごみ削減のための  
1週間分のチャレンジ表  
アプリの開発

### ホームグループ名 GPAP

GPAP  
=GOMI PROBLEM  
ACTION PLAN 動画の  
作成とSNS発信

### ホームグループ名 冷やしご飯

ごみ処理を学ぶ  
オンラインゲームの開発

## 2025年 JALスカラシッププログラム 日本人学生・大学院生を 募集します

### ●日程

- ①2025年6月25日(水)～7月1日(火)オンラインプログラム
- ②2025年7月2日(水)～7月16日(水)訪日プログラム

### ●募集人数

8名(予定)

### ●応募締切

2025年4月4日(金)17時まで

### ●応募先

参加募集要項や過去の  
JALスカラシッププログラム  
活動紹介については、  
下記Webサイトをご覧ください。



※①および②の両方のプログラムにご参加いただける方を歓迎します。応募が多数の場合は、書類・面接等により選考させていただきます。



2015年9月、全国連加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会の課題解決に取り組んでいきます。